

こひらやま

みなみたねちょう

小平山地区環境資源保全会（鹿児島県南種子町）

- 小平山地区環境資源保全会では、農村環境保全活動により景観形成・生活環境保全活動を実施し、環境改善へ取り組んでいる。
- また農道の整備、ため池の清掃活動も行い、集落内の環境美化にも取り組んでいる。
- これらの活動をとおして子供たちから大人まで幅広い年代が農地水活動に取組みコミュニケーションを図る場ともなっている。

【地区概要】

- ・取組面積：33.9ha（田 18.6ha，畑 15.3ha）
- ・資源量：水路 5.6Km，農道 3.8Km
ため池 2箇所
- ・主な構成員：農業者，非農業者，子供会
老人会
- ・交付金：約 136万円（R2）
農地維持 86万円
資源向上 50万円（共同）

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化等により、労働者が減少している中、個人による施設の維持管理に限界がきている。農道法面の草が伸び、ゴミの不法投棄が見られた。ため池も清掃回数が少なく、泥が堆積しやコケが発生している状況である。



取組内容

- 非農業者も含め、定期的な点検や沈砂池、調整池の泥上げ・草刈り、農道の草刈り・清掃作業を実施。
- 環境配慮の認識も高めるため、子供たちも含めた景観形成活動の実施。



取組の効果

- 水土里サークル活動に参加したことにより、集落内の農道がきれいに整備維持されており、集落民の環境美化の意識が高まっている。
- 子供たちが活動に参加してくれることにより、コミュニケーションが図られ、集落内の活気が溢れるようになり、子供たちもコスモスの開花を見ることにより、活動への意識が高まった。



◆ 結成にあたっての課題

- ・農地周辺の適正管理
- ・大型施設(ため池)の維持管理
- ・集落活性化のための世代間交流

◆ (課題をどのように解決・・・?)

- ・非農業者を取り込み, 労働者人員の確保
- ・重機による大型施設の維持管理
- ・子供会を含めた活動(コスモスの植栽)



Step1 (~H19)

結成前

農業者の高齢化により労働者が減少し, 個人での施設の維持管理が限界にきている。

Step 2 (H20)

小平山地区環境資源
保全会結成

施設管理を3年に一度, 集落, 土地改良区で行っていたが, 堆砂が早く機能していない期間があったため, 当組織により毎年維持管理する活動を開始

Step 3 (H20)

地域資源の基礎的な
保全活動

非農業者も含め, 定期的な点検や沈砂池調整池の泥上げ・草刈り, 農道の草刈り・清掃作業を実施。

Step 4 (H23)

景観形成活動

環境配慮の認識も高めるため, 子供たちも含めた景観形成活動の実施。
コスモスの植栽による遊休農地の解消にも繋がった。

Step 6

世代間交流

子供たちが活動に参加してくれることにより, コミュニケーションが図られ, 集落内に活気が溢れるようになり, 子供たちもコスモスの開花を見ることにより, 活動への意識が高まった。

Step5

活動効果

農地水活動に参加したことにより, 集落内の農道がきれいに整備維持されて集落民の環境美化の意識が高まっている。



きっかけ

高齢化が進む中で農用地の草払い等が担い手農家に負担がかかるようになってきた。

将来に向けて

- ☑ 地域一体となり, 農地・水活動を通して地域ぐるみで取り組みを行い, 整備されたきれいな地域を目指す。
- ☑ 地域住民の世代間交流を深め, 子供たちを含む地域住民に農業や環境の大切さを伝えていきたい。

今後の展望